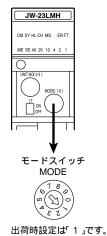
JW300にJW-23LMHを使用される場合

I/Oリンク親局ユニットJW-23LMHを<u>JW300に実装時</u>の使用方法(設定内容)は<u>JW30Hに実装時</u>と同じで、動作モードと通信領域は下記のとおりです。

詳細内容につきましては、JW-23LMHユーザーズマニュアル(改訂1.2版)に記載の「JW30H」を「JW300」に置き換えて、お読み願います。

動作モード(モードスイッチの設定)

		動作モード(モードスイッチ設定値)	1	2,7	3	4	5,8	6
	正	本ユニットの電源「OFF ON」時に接 続局確認を1回行う						
	常時	全子局ユニットとの通信を100回行い、 接続局確認を1回行う			-			
動	₩ij	CHECKリレーがONの間、接続局確認を行う	-	-		-	-	
		通信が正常になるまで接続局確認を繰り返す		-	-		-	-
作内	通	全子局ユニットとの通信を100回行い、接続局確認を1回行って無応答局の復帰チェックを行う	-		-	-		-
容	信異常時	CHECKリレーがONの間、接続局確認を 行い無応答局の復帰チェックを行う	-	-		-	-	
		無応答局は非接続局とみなして通信する	-			-		
		表示パネルとステータス領域に無応答局 番号を出力する		-	-		-	
		ステータス領域にPLCの 1 サイクルだけ 無応答局番号を出力する	-			-		
	伝送速度(k ビット / s)		172.8		3	345.6		



JW-23LMHューザーズマニュアルの 7・1ページに関連

通信領域(ユニットNo.スイッチの設定)

・モードを 1~6に設定時

スイッチ設定	I / Oリンク領域	動作フラグ領域	通信監視フラグ領域
0	コ 2000~コ 2077(512点)	⊐ 1570∼⊐ 1571	⊐ 2300 ~ ⊐ 2307
1	コ 2100~コ 2177(512点)	⊐ 1572∼⊐ 1573	⊐ 2310∼⊐ 2317
2	コ 2200~コ 2277(512点)	⊐ 1574∼⊐ 1575	⊐ 2320 ~ ⊐ 2327
3	コ 2300~コ 2377(512点)	⊐ 1576∼⊐ 1577	1

・モードを7、8に設定時

スイッチ設定	I / Oリンク領域	動作フラグ領域	通信監視フラグ領域
0	コ 0100~コ 0177(512点)	⊐ 1570∼⊐ 1571	⊐ 1560∼⊐ 1567

ユニットNo.スイッチ
UNIT NQ 0-3)

「する」
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)
UNITNQ(53)

JW-23LMH

JW-23LMHユーザーズマニュアルの 7・2ページに関連